

令和5年度 外国人医療体制整備事業実績について【令和5年予算207,298千円】

1. 体制構築

地域における外国人医療対策協議会設置等事業
予算：369千円

①-1地域における外国人医療対策協議会設置・運営事業

- 令和5年度第1回大阪医外国人医療対策会議の開催（令和5年8月7日）
- 令和5年度第2回大阪医外国人医療対策会議の開催（令和6年2月28日）

①-2拠点・地域拠点医療機関連絡調整会議設置・運営

- 大阪府外国人患者受入れ拠点医療機関連絡調整会議の開催（令和5年7月26日）

2. 実態把握

外国人患者受入れ体制実態調査事業
予算：902千円

外国人患者受入医療機関情報をとりまとめたリストの情報更新

ウェブ掲載医療機関：124医療機関
 （令和6年2月1日現在）

3. 情報発信

外国人医療体制情報発信事業
予算：1,093千円

医療機関や来阪外国人等を対象に医療情報等の発信を目的とした多言語情報ポータルサイト「おおさかメディカルネット for Foreigners」「おおさかメディカルネット 医療機関・薬局向け外国人患者受入れ支援サイト」について、第1回外国人外国人医療対策会議でのご意見を踏まえ、改修を実施。

<主な改修項目>

- 拠点医療機関情報の更新
- 日本政府観光局のHPへリンク案内

4. 医療機関への支援(令和6年1月31日現在)

①多言語遠隔医療通訳コールセンター設置・運営事業

予算：8,758千円

府内医療機関・薬局における外国人患者の受入れが円滑に進むよう、医療機関・薬局向けに7言語対応の多言語遠隔医療通訳サービスを実施

- 決算見込み額：990千円
- 委託事業者：メディフォン株式会社
- 対応言語：英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タイ語
- 利用実績：1,500件
- 利用医療機関：37医療機関

②外国人患者受入れワンストップ相談窓口設置・運営事業

予算：6,000千円

医療機関や薬局等から寄せられる、外国人対応に関する日常的な相談や複雑な課題にも対応できる相談窓口を設置

- 決算見込み額：6,000千円
- 委託事業者：日本エマージェンシーアシスタンス株式会社
- 利用実績：18件
- 利用医療機関：15医療機関

③新型コロナウイルス感染症の医療提供体制の整備事業

予算：190,176千円

医療機関における新型コロナウイルス感染症の外国人患者受入れのための設備整備事業(対象：32医療機関)

※主に外来の多言語看板の設置等の設備整備

決算見込み額：0千円(0医療機関補助総額)

<参考> 4年度：4,327千円(4医療機関補助総額)
 3年度：6,907千円(7医療機関補助総額)
 2年度：8,004千円(9医療機関補助総額)

新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関における外国人患者の受入れ体制確保事業(対象：32医療機関)

※主に入院外国人患者受入れのための体制整備

決算見込み額：19,618千円(2医療機関補助総額)

<参考> 4年度：20,000千円(2医療機関補助総額)
 3年度：18,892千円(2医療機関補助総額)
 2年度：82,159千円(9医療機関補助総額)